

写真を中心にした、 多様な楽しみのある

文化高原公園都市をめざして

前号では世界で開催されているフォトフェスティバルを、日本ですべてこの御代田町で開催するプランをご紹介しました。

私たちは、写真を中心に据えるものの、もう少し楽しみの範囲を広げて、アウトドア、音楽、自然、食を楽しめるフェスティバルにしようと思っています。その方が、軽井沢町や小諸市からの観光客が来やすく、さまざまな情報メディアに紹介されやすいでしょう。

例えば…



A)食:旧メルシャン美術館のレストラン棟から「レタス料理」という新しいジャンルを発信したらどうでしょう。アマナグ

ループは「料理通信」という専門雑誌を発行しているの、そのルートでさまざまな分野のシェフや町の農村女性ネットワークの方々と、レタスを題材にしたメニューを競っても

らう。食の企業と組んで、「食育」提案のセミナーを毎週実施したり…。

B)アウトドア:キャンプには最高の風景である御代田町ですが、キャンプ場だけでは新

しくありません。そこで、複数のアウトドアショップが集積した小さな商業施設を造る。この施設を造ると、長野エリアのアウトドア客が御代田町に集まるでしょう。

C)音楽:なんとといっても、武満徹さんです。彼の音楽を聴く会や朗読会を美術館や緑の広場で開催するのも素敵ですね。

D)自然:自然を題材にしたフォトコンテスト自体はよくありますが、写真美術館があるため、一流の審査員を招いて開催できます。

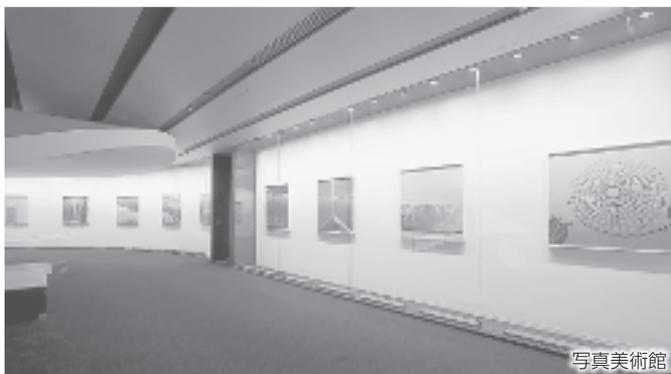
（E）カメラや写真…もちろん写真がアピールポイントの町ですから、写真センターは造っていただきたいですね。出力サービスやフレーム入れ、さらにカメラの修繕サービスセンターにするなどアマナの広告写真家による旅行記念写真スタジオもいいかもありません。そして、前号で紹介した、日本ではまだ珍しい、屋外の大型写真や、日光写真教室など自分で撮影した写真をその場でネガにし、太陽光でT



写真スタジオ



屋外写真の展示



写真美術館

シャツに転写して、そのTシャツを着て帰る。親子で楽しめませんね。
 ここまでの話はあくまでも例えです。これらを旧メルシャン美術館敷地内だけでなく、雪窓公園、やまゆり公園、龍神の杜公園でも実施し、出し物によっては、夏のフェスティバルの間だけでなく、通年で開催してもいいですね。

町民のみなさんや、写真に詳しいアマナの人々とお話して、徐々に固めたいと思います。予定としては、2018年夏に1カ月ほどの小さなフェスティバルを実施して、2019年からは、2カ月ほどの第一回と銘打てるようなフェスティバルを実

施したいと思っています。
 そして、2019年か2020年には、御代田写真美術館が開館する予定です。

美術館には、アマナが保有するアートフォトコレクションを展示しますが、このコレクションは世界で活躍する若手を中心にした日本人アート写真家の貴重な作品群です。現在800点余を保有し、将来的には2000点を目指しています。実は日本人のアート写真家の作品群は、世界では大変高く評価され、多くの人を魅了しています。パリ・ポンピドゥーセンター、ニューヨーク近代美術館、ロンドンテートモダンなどにたくさんの日本人写真家の作品が収蔵されていたり、2016年には日本

人アート写真家のグループ展が3種類も世界を巡回しているほどです。ですから、これが御代田町にあるという事は、東京どころか世界からMIYOTAに人を呼べる可能性があるという事です。

写真をキーにして、家族で楽しめ、親しみやすく、まだまだ日本には少ないフォトフェスティバルへと、世界から人を集める可能性を秘めた、日本にはたいへん数少ない美術館。
 御代田町はとても個性的な町になりますね。